

# 公開実用 昭和60— 171785

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

## ⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭60— 171785

⑫ Int.Cl.

B 62 D 49/00  
B 60 K 20/02  
F 16 H 5/00

識別記号

厅内整理番号  
2123-3D  
F-7721-3D  
7331-3J

⑬ 公開 昭和60年(1985)11月14日

審査請求 未請求 (全頁)

⑭ 考案の名称 農用トラクター

⑮ 実 願 昭59-60960

⑯ 出 願 昭59(1984)4月24日

⑰ 考案者 仙波 日出夫 愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部  
内

⑱ 考案者 渡辺 英雄 愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部  
内

⑲ 考案者 城戸 芳彦 愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部  
内

⑳ 出願人 井関農機株式会社 松山市馬木町700番地

## 明細書

### 1. 考案の名称

農用トラクター

### 2. 実用新案登録請求の範囲

運転台の乗降車口近傍に設けた横軸でもって枢着した操作盤あるいは表示盤を乗降車口に対し突出退避自在に設けたことを特徴とする農用トラクター。

### 3. 考案の詳細な説明

従来、農用トラクターの乗降口に操作盤及び表示盤兼用のドアが設けられたものがあるが、このドアは水平方向に回動するよう構成されているため、ドアのロック機構が必要となり構造が複雑であった。この考案は運転台の乗降車口近傍に設けた横軸でもって枢着した操作盤あるいは表示盤を乗降車口に対し突出退避自在に設けた農用トラクターを提供することを目的とする。以下、図面に基づいてこの考案の実施例の一つを説明する。  
す、構成について説明する。  
ま農用トラクターのフレーム(1)の前部には、下側に前輪(2)(2)を支えるフロントアクスル(図示省)

(1)

887

実開60-171785

# 公開実用 昭和60—171785



略)が左右上下動自在に支持され、上側に搭載されたエンジン(図示省略)をポンネット(3)で被覆している。ポンネット(3)の後部は中央にステアリングハンドル(4)を突設したハンドルポストフレーム(5)に支持されている。フレーム(1)の前後中間部にはミッションケース(6)の上側にフロアー(7)を設けるとともに左右の後フェンダー(8)(8)の設けた谷底フロアー(9)の上側にシート(10)を設けて運転台(11)を構成し、ハンドルポストフレーム(5)の前端に前フェンダー(12)(12)を立設し、フロアー(7)の左右両側を後フェンダー(8)(8)と前フェンダー(12)(12)より外側に突出するよう延設したステップ(13)(13)を設けて、乗降車口(14)(14)を構成し、ハンドルポストフレーム(5)の右側には、右側の前フェンダー(12)の上端に沿うように、支持杆(15)を突設して、基部上側にストッパー面(16)を設けるとともに、先端側に横軸(17)を構成している。後フェンダー(12)(12)の前側部は上記横軸(17)を中心とする弧面を形成している。そして、右側の乗降車口(14)には、上記横軸(17)を遊嵌する取付ボス(18)、後部に握部(19)、中間にH型ガイド孔(20)

及びI型ガイド孔<sup>43</sup>とを設けたガイド板<sup>42</sup>の下側に、前側を前フェンダー<sup>(1)</sup>に沿わせ、下側をステップ<sup>(13)</sup>に沿わせ、そして、後側を後フェンダー<sup>(8)</sup>に沿うよう形成した内側板<sup>44</sup>と外側板<sup>44</sup>とを固着するとともに、この内側板<sup>44</sup>及び外側板<sup>44</sup>の外周に沿うよう外周板<sup>44</sup>を固着して操作盤<sup>46</sup>を構成し、この操作盤<sup>46</sup>をその取付ボス<sup>(18)</sup>の取付孔<sup>47</sup>を上記支持杆<sup>45</sup>の横軸<sup>48</sup>に遊嵌挿通して取付けている。そして、ガイド板<sup>42</sup>のH型ガイド孔<sup>(20)</sup>には操作盤<sup>46</sup>に枢着した主チェンジレバー<sup>(28)</sup>を、I型ガイド孔<sup>43</sup>には操作盤<sup>46</sup>に枢着した副チェンジレバー<sup>(46)</sup>を突出させ、主チェンジレバー<sup>(28)</sup>及び副チェンジレバー<sup>(46)</sup>はそれぞれボーテンワイヤー（図示省略）を介してミッションケース<sup>(6)</sup>中の主変速装置（図示省略）及び副変速装置（図示省略）に運動連繋されている。なお、操作盤<sup>46</sup>は表示盤でもよく、また操作盤<sup>46</sup>と表示盤の両方の機能を兼ねていてもよいし、また、操作盤<sup>46</sup>を両側の乗降車口<sup>(14)(14)</sup>に設けてもよいことは言うまでもない。

つぎに、作用について説明する。操縦者が運転

# 公開実用 昭和60—171785

台(1)に対して乗降車する場合には、操縦者は握部(9)を持って上方へ横軸(8)を中心回動して反転するとガイド板(6)の前部が支持杆(15)のストッパー面(16)に当接して操作盤(7)は反転した状態で支持されるので、操縦者はステップ(13)に足を掛け乗降車する。そして、操縦者が乗降車した後は、握部(9)を持って下方へ回動し乗降車口(14)を塞いで操作盤(7)がステップ(13)上に安定状態に保持される。

要するに、この考案は運転台の乗降車口近傍に設けた横軸でもって枢着した操作盤あるいは表示盤を乗降車口に対し突出退避自在に設けたので、乗降車口に操作盤あるいは表示盤が突出して乗降車口を塞いだ状態では操作盤あるいは表示盤は水平方向に回動して開くようなことがないので、特別のロック装置を設ける必要はなく、操縦者の安全を保持することができる。

## 4. 図面の簡単な説明

図面はこの考案の実施例の一つを示し、第1図は全体側面図、第2図は要部を分解した斜視図、第3図は要部の作用図である。

(4)

890



### 主な符号の説明

- (1) … フレーム、(5) … ハンドルポストフレーム、
- (6) … ミッションケース、(7) … フロアー、(8) … 後フェンダー、(11) … 運転台、(12) … 前フェンダー、(13) … ステップ、(14) … 乗降車口、(17) … 横軸、(20) … 操作盤

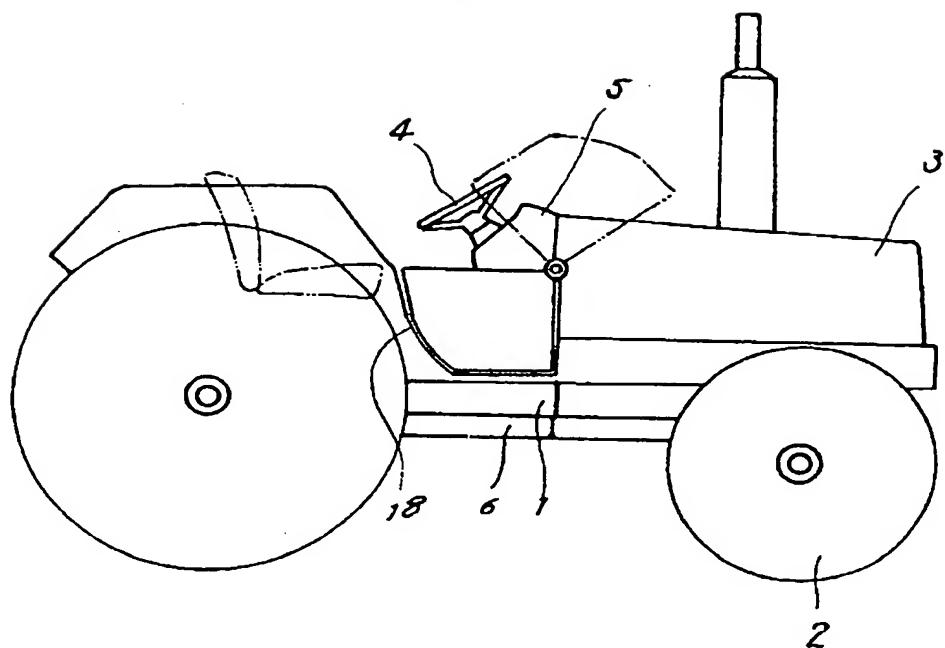
### 実用新案登録出願人の名称

井関農機株式会社

代表者 井関昌孝

公開実用 昭和60—171785

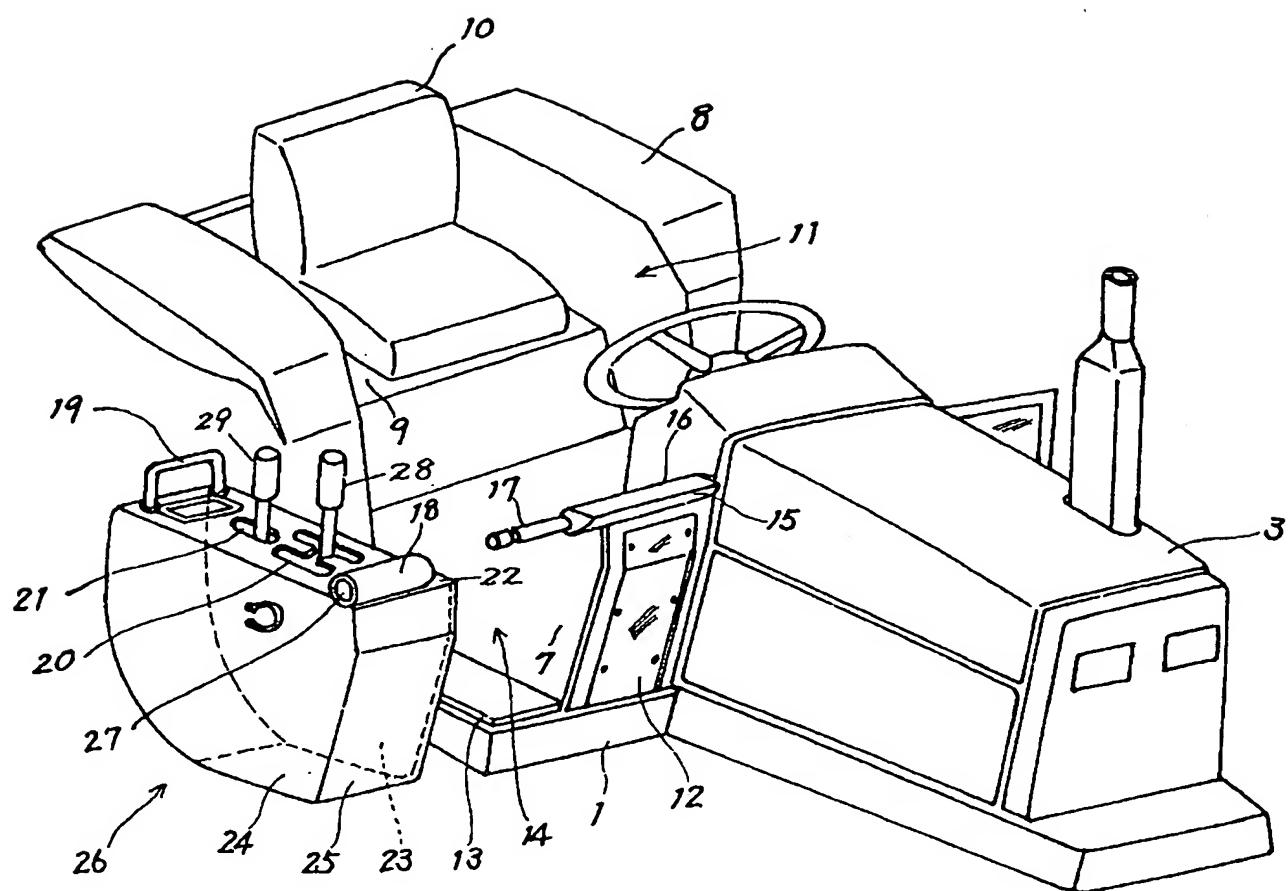
第1図



89:

実用新案登録出願  
井関農機  
代表者 非  
公開 60-37

第2図



893

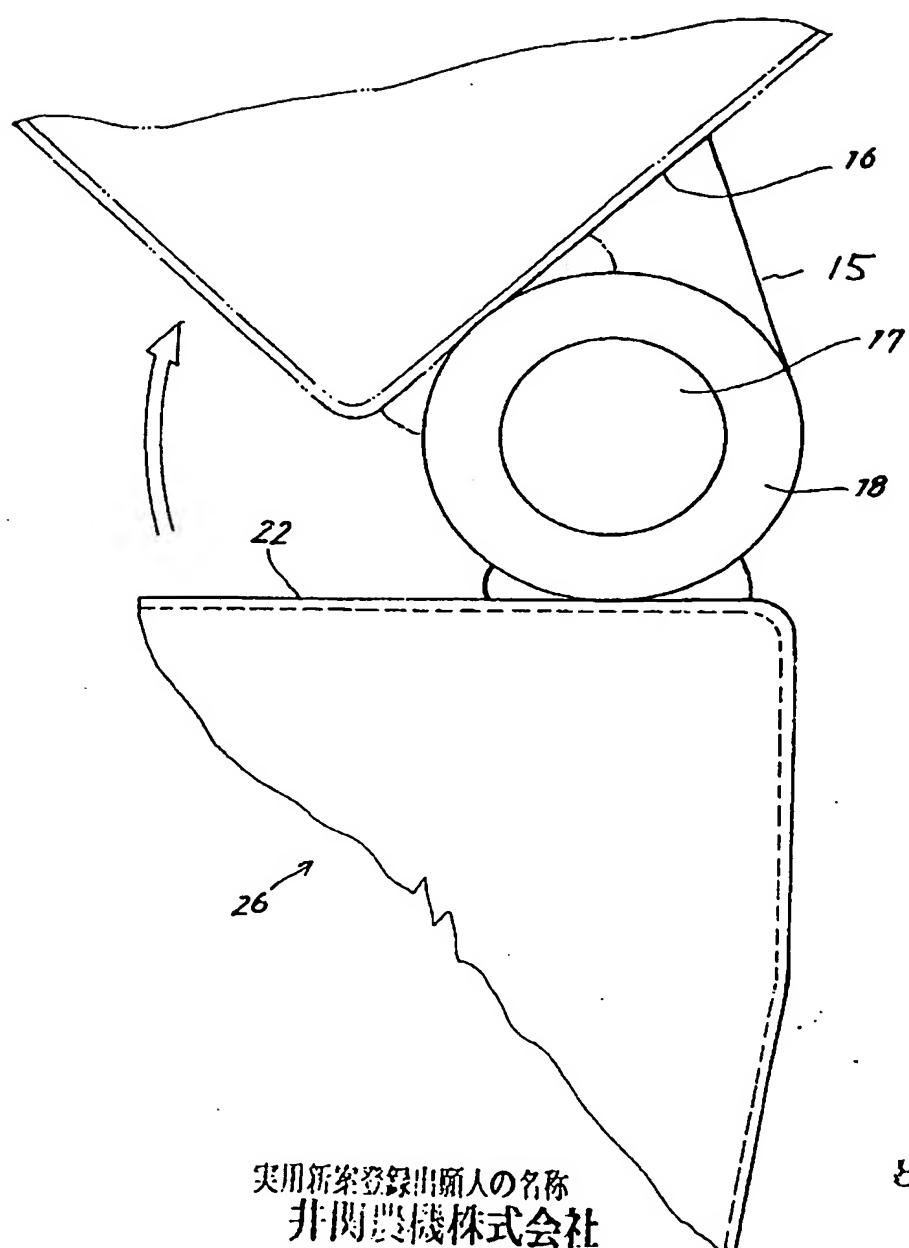
実用新案登録出願人の:  
井関農機株式会社

代表者 井関昌

実用 60-1717

公開実用 昭和60-171785

第3図



実用新案登録出願人の名称  
井関農機株式会社  
代表者 井関昌孝

894

実用60-171785

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

**BLACK BORDERS**

**IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

**FADED TEXT OR DRAWING**

**BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

**SKEWED/SLANTED IMAGES**

**COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

**GRAY SCALE DOCUMENTS**

**LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

**REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

**OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**